

登校拒否援助機関の紹介

県内で登校拒否の子どもたちへの相談や援助を行っている機関の中で、金沢市内の子どもたちが数多く通っている石川県立医王養護学校を、中学部の先生から紹介していただきます。

石川県立医王養護学校における 登校拒否児の対応等について

中学部主事 覚知 マサ子

1. 本校の概要

本校は県下で唯一の病弱養護学校で小学部、中学部、高等部があります。在籍児童生徒数は70余名おり全員隣接している国立療養所医王病院に入院しています。各病棟から通路を通して登校してきますが、年々、病種の多様化と障害の重度化がみられます。

在籍者の病名

筋ジストロフィー症、腎炎、肥満、脳疾患
自律神経失調症、喘息、登校拒否……等

登校拒否児は昭和58年度から在籍しており、全児童生徒の約37%が登校拒否(心身症を含む)です。特に中学生が多く、3年前から高校生も在籍しています。

出身地は県内だけではなく、福井、富山からの入学・転入生が約24%おります。

このように、病種、病状等が異なっても教科学習、特別活動、養護・訓練等を通して明るく仲よく強い人間として生きようと頑張っています。

2. 「中学部における登校拒否生徒について」

(1) 実態

本校の生徒は全員病院に入院しているので、病院が入院対象と考えている次のような登校拒否児が主に在籍しています。

- ・神経症的登校拒否
 - a 分離不安型
 - b 優等生の息切れ型
 - c 甘やかされたタイプ

(2) 対応の基本について

入院しても、すぐ登校できる場合と難しい場合があります。登校が出来るようになって、継続が困難なことがよくあります。生徒の自主性の育成を指導の基本として、待つ姿勢「相手の成長を援助しよう」を大切にしています。

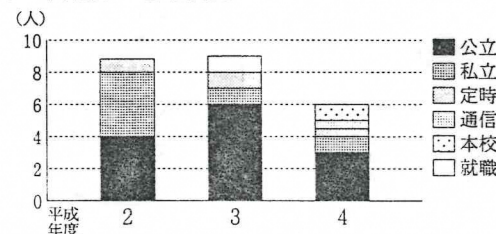
一人一人が持っている問題は違います。教育

活動全般において、カウンセリング・マインドを重視していますが、その時、主治医や生活指導員等と連携を密にとっています。また、学校職員間の共通理解も常に図っております。

入院してから、次のように対応しています。

- ① 入院当時(約1ヶ月間は体験入学)
 - ・新しい環境に慣れるように登校刺激等をしていないで全面的に受け入れ、様子観察を行う。
- ② 登校から教室での学習まで
 - ・居場所(図書室、保健室)や過ごし方等を受け入れ、教科担任がコンタクトをとるようにする。
- ③ 教室での学習
 - ・主体的に学習が出来るように、学習空白を考慮した学習計画を立てる。
- ④ 課外学習
 - ・学習に積極性ができたら指導する。

(3) 卒業後の進路状況



(4) 転出入について

- a 医王病院外来受診 ⇒ 入院 ⇒ 転入
 - ・病棟見学、学校見学 (教育相談)
 - ・約1ヶ月間 体験入学
 - ・主治医判断 保護者の了解
 - ・生徒への連絡
- b 前籍校へ登校 約1ヶ月間 ⇒ 転出
 - ・退院して自宅、あるいは、病棟から通学
 - ・転出手続き

3. 本校高等部入学・転入について

- 入学 医王病院外来で医療相談 ⇒ 本校で教育相談 ⇒ 受検、学力テスト、面接
- 転出入は上記 a、b に準じる。

教育センターだより

第107号

H 5. 11. 30

金沢市教育センター
発行者 菅波稔之
金沢市武蔵町14番31号
TEL (21) 7949・1642
FAX (21) 6800

アニメ映画会に歓声

田上保育園訪問「ピーターパン」・「ぼくとときどきぶた」の上映

教育センターでは、16mm映画フィルムやビデオ教材の活用を図るため、小中学校・幼稚園・保育所・児童館・公民館に搬送しています。

今回は、その中から田上保育園での映画会の様子を紹介します。

田上保育園を訪問したのは9月29日でした。この日は10時30分に上映開始ということで、小さな体育館には子ども用の椅子とスクリーン、映写機用の机が用意されていました。

開始までにしばらくの時間があつたので、教室をのぞいて保育さんにあいさつをすると、遊んでいた子どもたちは物珍しそうに廊下に出てきました。

2才ぐらいの男の子は作ったばかりの粘土のへびを片言で説明してくれました。

なわとびが上手にできるのを見せてくれる女の子もいました。

そうこうしている内に、上映の時刻が近づきました。「体育館に集まりなさい！」保育さんのかけ声でみんなぞろぞろと体育館に集まります。椅子にすわってきちんとならぶと、映画会

が始まりました。

「ピーターパン」が始まると、にぎやかだった体育館がシーンとします。

子どもたちの目がスクリーンに吸いつきます。楽しそうな笑顔を見ながら、ひとつづつくてかわいい子どもたちに別れを告げました。

当センターの今年度の16mm映画フィルムの貸出本数は幼稚園・保育所がいちばん多く243本で、(4~10月)よく利用いただいております。

これは、楽しい内容のアニメ映画が揃ってきていることや、電話するだけで簡単に搬送できる体制になっていることなどが喜ばれているからです。

また、小中学校用の視聴覚教材としては16mm映画フィルムもありますが、手軽に扱えるビデオ教材に力をいれて揃えてきています。

今年度、小中学校のビデオ教材利用は497本で、(4~10月)次第に増えてきています。

今後とも視聴覚教材の充実を力を入れていきますので、気軽に電話して、ご利用ください。



パソコン教材開発研究進む!

校種	教科	学年	教材名	制作者氏名(学校名)
小学校	国語	1	ことばの学習	中島 満子(富樫小) 玉瀬磨美子(富樫小)
	社会	5	社会見学用データベース	水島 保(中央小) 久田 良一(諸江町小) 金子 俊一(大徳小) 戸水 利紀(三和小)
	算数	1・2	整数のたし算	安田 肇(西南部小) 森 裕之(長坂台中) 横江 眞(長坂台小)
		3・4・5	分数のたし算	堀内 克之(味噌蔵町小) 奥野 豊夫(三谷小)
	理科	3	いろいろなこん虫	葛蒲田英夫(米丸小) 豊田 英隆(米丸小)
		6	教師用実験マニュアル	山下 良夫(戸板小) 濱田 昌博(金石町小) 中川 隆博(浅野町小) 吉田 弥(三馬小) 高田 智生(戸板小)
中学校	社会	1	I 世界とその諸地域 第1章世界の国々	滝 登志彦(北鳴中) 福島 宏明(大徳中)
		1	I 世界とその諸地域 第2章世界の人々の生活と環境	鍋嶋 康敬(森本中) 隅屋 孝寿(高岡中)
	数学	1・2・3	図形学習導入用シミュレーション	近本 嘉治(泉中) 堀内 伸一(泉中)
		3	入試問題練習ドリル	山田 裕一(高尾台中) 本田 秀平(高尾台中)
	理科	3	5生物のつながり 1細胞と生物の成長 2生物のふえ方と遺伝	村本 正美(森本中) 長谷川 寛(高尾台中)
		3	5生物のつながり 3生物の類縁関係と進化 4生物どうしのつながり	金崎 誠一(鳴和中) 古谷 義宏(鳴和中)
	英語	2	英単語学習ドリル 「What am I? (2)」 中学校2年名詞編	青木 雅人(医王山中) 中 克之(城南中)
		2	英文学習ドリル 「How do you say? (2)」 中学校2年英文編	西川 健一(緑中) 上田敬太郎(港中)
	自由		数学科における図形 学習のためのシミュレーション	亀沢栄見子(額中) 松尾 浩(額中)

昨年度より始まった「パソコン教材開発研究委託事業」は、今年度、上表の先生方のご協力で着々と進んでいます。昨年度は10本の教材が仕上がり運用可能な学校から順次配布しています。今年度は昨年より5本多い15本の教材を36人の先生方に研究委託し開発を進めていただいています。

「パソコン教材」といっても、パソコンが堪能な方でないといえないという教材ではなく、

ワープロ等が使えれば作ったり修正ができる教材作成用ソフトを使っての開発です。中学校の数学・理科・社会はTMO Sというソフトを使い、英語・小学校用教材はFCA Iを使用しています。

FCA Iについては、運用するためにDOS-BASICが必要なため、小学校に関してはそれがそろいしだい配布したいと思いますので、ぜひお試しください。

視聴覚部研修会アンケートより

(平成5年4～9月の25講座 244名の回答より)

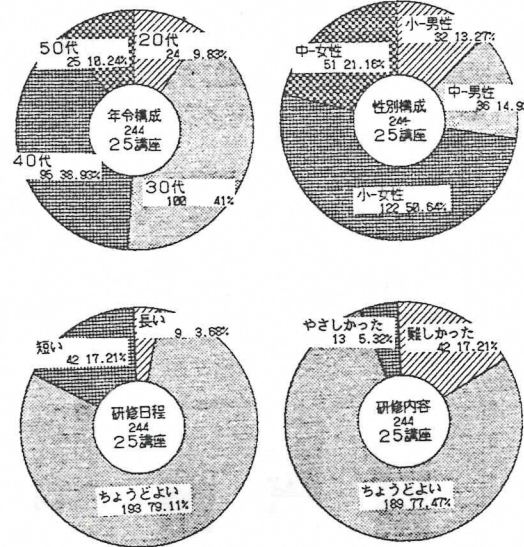
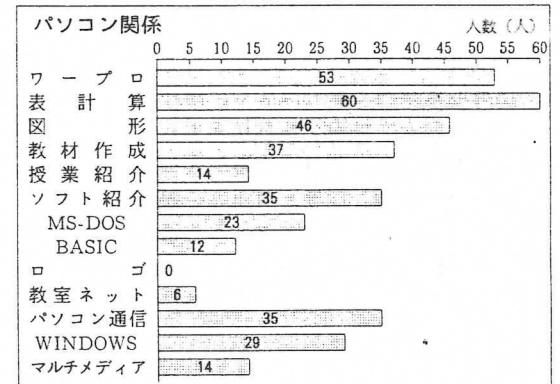
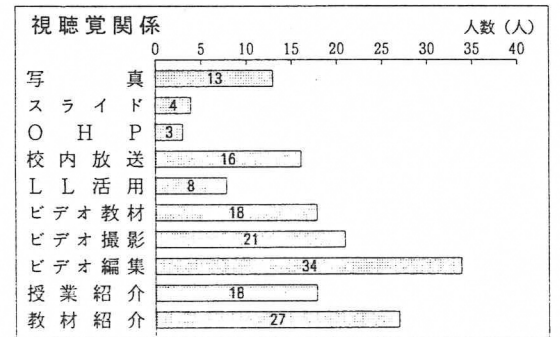
金沢市教育センターでは、受講者の先生方に講座毎にアンケートを行い、この集計をもとに次年度の講座数や内容等の検討を行っています。来年度もこの結果を参考にしながら、先生方のニーズにあわせた研修会を開催したいと思います。今後とも多くの参加をお待ちしています。また、同じ講座を何度受講されても結構です。

以下にアンケート結果の一部を載せておきます。

この集計結果より、受講者は小学校の女性の先生が最も多いようです。講座内容では、中級講座のいくつかで理解度に差があり、難しく感じられた先生がおられました。今後の新規希望

講座ではパソコン通信やウィンドウズなどがありました。学校での現状と照らし合わせ対応して行きたいと思います。また、これからパソコンを活用した授業事例報告講座や教材制作講座に力を入れていきたいと思っておりますのでよろしくご支援ください。

Q. 今後当センターにどのような研修講座をのぞみますか?



学校のパソコン活用を応援します

(学校での研修会にテキスト・講師を派遣します)

全中学校にパソコン教室が設置され、小学校でもノートパソコンを使った実践など授業に少しずつパソコンの活用が浸透してきたと思います。そこで、先生方もパソコンで教材を作成したり、表計算でデータ解析したりしてみませんか。当センターではテキスト配布や講師派遣を行っておりますので、日程を調整してご

ばお問い合わせください。今年度は予定も含めて、小学校のFCA I、中学校の表計算、中教研(美術・理科)、図書館司書会などの研修を行っています。また、週1回の割合で午後から定期的に当センターで自己研修をつんでいる先生方もおられます。是非、3学期や来年度に計画がありましたら、お役に立ててください。